

# いま9条の未来を語ろう

～ 憲法がめざす平和な世界のつくりかた～

昨年の尖閣諸島(釣魚台)問題や北朝鮮と韓国軍の砲撃戦等、武力紛争・戦争の危機を感じさせる出来事が相次いでいます。

その中で、昨年12月、政府は6年ぶりに「防衛計画の大綱」を改訂し、より積極的・能動的な「動的防衛力(動的抑止力)」という新たな概念を打ち出して、従前の「基盤的防衛力構想」を基本とする防衛政策からの根本的な転換を提起しました。

でも少し立ち止まって考えてみませんか。私たちの平和憲法は武力による紛争解決を否定していたはずで、他国を脅威とするような政策を掲げることは、緊張を高め、現実の戦争の危険性をかえって増大させはしないでしょうか。

双方に様々な利害が絡み合う時代だからこそ、力で相手を威嚇するのではなく、冷静に、理性的に、問題を解決する努力が必要です。それこそが、戦争を避ける真の「現実主義(リアリズム)」ではないでしょうか。

今回のシンポジウムでは、著書「民主と愛国」で、日本の戦後における憲法9条の成り立ちと国民の9条観を歴史的に考察された小熊英二慶應義塾大学教授をお招きし、戦後国際秩序の形成と、現代の国際秩序のあり方をひきくらべて、憲法9条がどのような意義をもっていたのか、現在ではそれがどう変わって、どういう意義を持ちうるのかについてご講演いただきます。

続くパネルディスカッションでは、小熊教授に加え、憲法学者の立場から、憲法と平和問題に関し幅広い論点で活発な発言をされている青井未帆成城大学法学部准教授、さらに防衛省・自衛隊の現状を多年にわたり精力的に取材し、発信を続けて来られた東京新聞編集委員半田滋氏のご参加をいただき、憲法9条の現状やその未来について、様々な切り口からご意見をいただき、展望し探求する機会とします。



**入場無料**(先着500名)

※ 定員に達した場合には、入場をお断りすることがありますのでご了承ください。

## 第1部 講演 日本の平和主義のこれから

(小熊英二さん/慶應義塾大学教授)

## 第2部 パネルディスカッション 憲法9条の未来

～憲法がめざす平和な世界のつくりかた

パネリスト

- 小熊英二さん (慶應義塾大学教授)
- 半田 滋さん (ジャーナリスト・東京新聞編集委員)
- 青井未帆さん (成城大学法学部准教授)

コーディネーター ● 福山洋子・田場暁生 (弁護士)

日時 2011年5月14日(土)

開場 午後12時30分

開演 午後1時【終了 午後5時予定】

会場 弁護士会館2階 クレオ

東京都千代田区霞ヶ関1-1-3

地下鉄 ■丸の内線・日比谷線・千代田線・霞ヶ関駅下車



主催 ● 日本弁護士連合会・東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会

問い合わせ先 ● 第二東京弁護士会 人権課 TEL.03-3581-2257

HP <http://niben.jp/>

※このチラシは、環境に配慮し再生紙を使用しています。